

備前市 事務事業 評価表

事務事業名	地区公民館運営事業（備前）	コード	03-02-04-11
		担当課・係	備前地域公民館
		担当者	隅谷 健司
事業実施期間	昭和46年～	電話	64-1133
総合計画 事業（政策）体系	大項目（基本目標）	地域文化と人が輝くまちづくり	
	中項目（基本施策）	生きがいのあるまちづくり	
	小項目（施策）	公民館（指導者の養成 文化活動の推進）	

事業について	
目的 （何のために）	地域住民にもっとも身近な施設である公民館は、生涯学習の中核として様々な学習の機会や活動の場を提供するとともに、自発的な活動を奨励し地域社会の形成や文化の振興を図ることを目的としている。
対象 （誰・何を対象に）	市内7地区に在住・在勤の住民
内容	団体やグループに交流の場を提供するとともに、講座の受講者に対して自発的に学習グループが形成されるように支援と育成。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など（単位）	18年度 回数など（単位）	回数など（単位）
年間貸館利用者数	6,491 回	6,846 回	
貸館利用者数	89,844 人	83,855 人	
地区公民館数	7 館	7 館	

事業費 （単位：千円）	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	34,371	経費補助金等		直接事業費	41,928	経費補助金等	
	人件費	6,580	受益者負担		人件費	6,000	受益者負担	135
	合計	40,951	一般財源等	40,951	合計	47,928	一般財源等	47,793

結果指標	必要人員	0.80 人	0.70 人	
	結果指標名	貸館回数	貸館回数	
	結果指標量	6,491	6,846	
	単位	回	回	
結果指標	対前年比	-	105.47%	0.00%
	活動にかかるコスト	33,443,000 円	40,602,000 円	
	単位当たりコスト	5,152 円	6,124 円	
	結果指標名	貸館利用者数	貸館利用者数	
結果指標	結果指標量	89,844	83,855	
	単位	人	人	
	対前年比	-	93.33%	0.00%
	活動にかかるコスト	33,443,000 円	40,602,000 円	
結果指標	単位当たりコスト	372 円	500 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	地域社会の形成や文化等の振興を図ることを成果目標としている。		
成果指標名	貸館利用者数	式又は説明	7地区公民館の年間貸館利用者数
	17年度	18年度	
成果指標量	89,844	83,855	
対前年比	-	93.33%	0.00%
到達目標値	100,000	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		（平成18年度事業）	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 社会教育法22条	妥当性評価<A~E> C 課題認識
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	地域住民にとって最も身近な生涯学習施設として、文化・体育の振興と住民の親睦を図る機会を提供しており妥当である。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C 課題認識
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	利用者に、エアコン、電気等の消忘れや無駄なコピーをしないよう指導することにより、コスト削減に繋がった。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	利用者が、高齢で特定の人に限定されている傾向がある。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の利用状況		説明 今年度の利用状況は、昨年に比べ利用者数及び貸館回数が現時点で増加傾向にある。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量 7,000	結果指標量 100,000
	成果指標量 100,000	

総合評価	目標としている利用者数、利用頻度が増えることにより施設の維持管理にかかる費用も増加すると考えられるが、職員と利用者がコスト意識を持つことで光熱水費等にかかる出費を抑えることにつながる。	評価区分<A~E> C
------	--	-------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	---	--

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	新たな利用者の開拓を行う。	平成20年度	利用者のマンネリ化から脱却し、新たな利用者の増加が期待される。